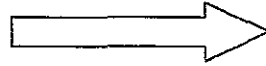


平成19年度肝炎ウイルス検査体制(予算)の増減イメージ図

平成18年度(A) 予算額40億円

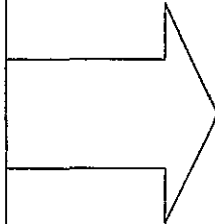


平成19年度(B) 予算額52億円

差引増△減額(B-A)
12億円

◎特定感染症検査等事業
(保健所による実施)

・20～39歳の受診希望者を対象
・40歳以上は、他の事業で未受診者のうち希望者を対象



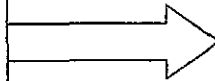
・20～39歳の受診希望者を対象
・40歳以上の未受診者(やむを得ない事情により他制度で受診できなかった者)のうち希望者を対象

※平成19年度より、保健所での実施のほか、医療機関への委託を可とする。

原則無料

◎老人保健事業

(老人保健事業)
・節目検診
(40・45・50・55・60・65・70歳)
・節目外検診(ハイリスク者)



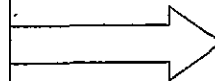
(老人保健事業)
・節目検診(新40歳)
※制度開始後5年経過し対象者を一巡したため新40歳とする
・節目外検診
(41歳以上のハイリスク者等)

受診者負担あり
100～1,700円
程度

※老人保健事業による肝炎ウイルス検診は平成20年度からは健康増進法に基づく事業として実施される。

◎政府管掌健康保険

(政府管掌健康保険)
・節目検診
(35・40・40・45・50・55・60・65・70歳)
・節目外検診(ハイリスク者)



(政府管掌健康保険)
生活習慣病予防健診を受けることができる方で、検査を希望する35歳以上の者

受診者負担あり
595円